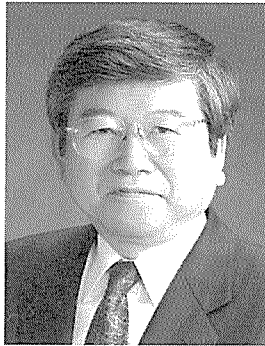


業績目録（吉田忠）

著者	東北大学史料館
号	859
発行年	2004-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065676

吉田 忠教授業績目録

平成16年3月
東北大学史料館
(著作目録第859号)



吉田 忠教授略歴

生年月日 1940年4月25日生
出身地 三重県
所 属 東北アジア研究センター

学 歴

1963年3月 東京大学教養学部教養学科科学史・科学哲学分科卒業
1965年3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程比較文学・比較文化専門課程修士課程修了
1968年6月 プリンストン大学（アメリカ合衆国）大学院科学史・科学哲学プログラム博士課程必要単位取得（Ph.D. 候補者）
1968年12月 東京大学大学院人文科学研究科比較文学・比較文化専門課程博士課程中途退学

職 歴

1969年1月 東北大学文学部附属日本文化研究施設講師
1976年4月 同 日本文化研究施設基礎部門助教
1982年9月 ハーヴァード大学科学史学部客員研究員（ACLS フェロー）（1983年9月まで）
1987年3月 東北大学文学部附属日本文化研究施設基礎部門教授
1987年3月 北京・日本学研究中心教授として国際交流基金より派遣（同年7月まで）
1992年9月 ウェスリアン大学（アメリカ合衆国コネティカット州）客員研究員（同年12月まで）
1994年4月 東北大学学生部長及び東北大学評議員（1996年3月まで）
1996年4月 国際日本文化研究センター（京都）客員教授（1999年3月まで）
1996年5月 東北大学東北アジア研究センター教授（地域交流研究部門・科学技術研究分野、現在に到る）に配置換え、及び同センター長（1999年7月まで）及び東北大学評議員（1998年4月から1999年7月まで）
1999年10月 オランダ高等研究所客員研究員（2000年6月まで）

2003年3月 東北大学を定年退職

学 位

1974年6月 Ph.D. (プリンストン大学)

学会等における活動

日本思想史学会評議員 (1989～現在)

洋学史学会理事 (1991～現在), 会長 (2001.5～2003.5)

日本医史学会評議員 (1989～2002.10), 理事 (2002.10～現在)

産業技術史学会理事 (1991～現在)

国際科学史学会 (北京, 2005年開催予定) プログラム委員

業 績 目 録

I. 編 著

1. 『東アジアの科学』
1982年7月，勁草書房，317頁
2. 『ニュートン自然哲学の系譜』
1987年11月，平凡社，276頁
3. 『中日文化交流史大系8・科技巻』
李廷挙・吉田忠共編，1996年12月，浙江人民出版社，393頁
4. 『科学技術』
吉田忠・李廷挙共編，（日中文化交流史叢書8），1998年3月，大修館書店，522頁
5. 『東と西の医療文化』
吉田忠・深瀬泰旦共編，2001年5月，思文閣出版，439頁

II. 研究論文

1. 箕作佳吉のモース宛書簡
『生物学史研究』第15号，51-56頁，1968年12月
2. Marinus and Fei Hsiu
『比較文化研究』第9輯，1969年3月
3. 文化8年彗星考
『東北大学文学部研究年報』第20号，129-164頁，1970年3月
4. ギルバートの磁気哲学
『東北大学文学部研究年報』第22号，1-59頁，1972年3月
5. 志筑忠雄『万国管闢』について
『長崎談叢』第53輯，20-44頁，1972年7月
6. 天文方の蘭人対話
『比較文化研究』第12輯，167-212頁，1972年9月
7. 蘭学と自然哲学一試論
『東北大学日本文化研究所研究報告』第9集，43-76頁，1973年3月
8. 斥力・空気・蒸気—ニュートン・ヘールズ・デザグリエ—
『化学史研究』第2号，16-23頁，1974年8月

9. 寰宇総論の研究
『東北大学日本文化研究所研究報告』第11集, 39-69頁, 1975年3月
10. 西洋近代科学との接触
古川哲史・石田一良編, 『日本思想史講座』第5巻, 雄山閣, 37-54頁, 1975年12月
11. 中天游の蘭学
『東北大学日本文化研究所研究報告』第12集, 19-38頁, 1976年3月
12. 大槻玄沢・玄幹父子の西遊と志筑忠雄
『長崎談叢』第59輯, 1-24頁, 1976年6月
13. 蘭学管見一西洋近代科学の受容 I
『知の考古学』第10号, 22-37頁, 1976年9月
14. 蘭学管見一西洋近代科学の受容 II
『知の考古学』第11号, 231-245頁, 1977年3月
15. バジヨットと進化論
『東北大学日本文化研究所研究報告』第14集, 49-74頁, 1978年3月
16. Von Siebold as Station Doctor
The Netherlands Association for Japanese Studies, *Philipp Franz von Siebold, A Contribution to the Historical Relations between Japan and the Netherlands*, Leiden, pp.29-40, 1978
17. 蘭学における訳語の考察
東京外国語大学アジアアフリカ言語文化研究所『文字と言語』研究資料6, 1980年2月
18. 玄真新書の研究
『東北大学日本文化研究所研究報告』第16集, 75-94頁, 1980年3月
19. 科学と社会一科学の専門職業化と制度化
村上陽一郎編, 『科学史の哲学』(『知の革命史』第1巻), 朝倉書店, 93-171頁, 1980年5月
20. 聖書と地動説
東北大学日本文化研究所編, 『神観念の比較文化論的研究』, 講談社, 1265-1306頁, 1981年2月
21. ファン・マールムとラヴォアジエ化学
大森荘蔵・伊東俊太郎編, 『科学と哲学の界面』, 朝日出版社, 115-138頁, 1981年4月

22. 近世天文学史—天体力学の成立へ向けて
中山茂編、『天文学史』（『現代天文学講座』第15巻），恒星社，71—104頁，1982年2月
23. 三浦梅園の天文学的知見
『東北大学日本文化研究所研究報告』第18集，81—114頁，1982年3月
24. 18世紀オランダにおける科学の大衆化と蘭学
吉田忠編、『東アジアの科学』，勁草書房，50—108頁，1982年7月
25. 志筑忠雄『混沌分判図説』再考
『東洋の科学と技術』（藪内清先生頌壽記念論文集），同朋社，354—369頁，1982年11月
26. 仙台医官大槻玄沢
渡辺信夫編、『宮城の研究』第5巻，清文堂，210—235頁，1983年10月
27. 自然と科学
相良亨ほか編『自然』（『講座日本思想』第1巻），東京大学出版会，318—349頁，1983年10月
28. 物理学・弾道学・化学
中山茂編、『幕末の洋学』，ミネルヴァ書房，149—173頁，1984年1月
29. 池部啓太の弾道学
『東北大学日本文化研究所研究報告』第20集，67—96頁，1984年3月
30. 生態学とエコロジー—A. レオポルドと環境倫理への道程
『歴史と社会』第4号，105—132頁，1984年6月
31. 蘭学史
『科学史研究』150号，73—80頁，1984年7月
32. 『厚生新編』の磁石説
『東北大学日本文化研究所研究報告』第21集，69—94頁，1985年3月
33. アメリカの優生政策
『思想の科学』第62号，42—52頁，1985年5月
34. 科学の自立と制度化
大森荘蔵ほか編、『技術・魔術・科学』（『新岩波講座哲学』第8巻），岩波書店，191—221頁，1986年2月
35. 『天経或問』の受容
『科学史研究』156号，215—224頁，1986年2月
36. 近世における仏教と西洋自然観との出会い
安丸良夫編、『近代化と伝統』（『体系・仏教と日本人』第11巻），春秋社，101—139頁，1986年3月

37. 天文方の『暦引』研究
『東北大学文学部研究年報』第35号, 131-163頁, 1986年3月
38. アメリカ政府機関における医療のテクノロジー・アセスメント
『ライフサイエンス』13巻6号, 70-75頁, 1986年6月
39. 蘭学と解剖
『日本思想史学』第18号, 58-72頁, 1986年9月
40. 洋学における技術
『たばこと塩の博物館 研究紀要』第2号, 65-73頁, 1986年11月
41. 日高涼台の蘭学
『東北大学日本文化研究所研究報告』第23集, 117-150頁, 1987年3月
42. 天文方の蘭学事始
『日蘭学会会誌』第11巻2号, 11-24頁, 1987年3月
43. プリンキピアとオプティックス—成立と普及
吉田忠編『ニュートン自然哲学の系譜』, 平凡社, 9-35頁, 1987年11月
44. Cosmogony in the *Xuanji Yishu* of Qi Xuan
Bulletin of Chinese Studies, vol.1, no.2 (Department of Chinese, University of Hong Kong, pp.205-231, 1987
45. Some Problems in the Analysis of the Manifestation of Sickness
History of Diagnostics (Proceedings of the 9th International Symposium on the Comparative History of Medicine—East and West), The Taniguchi Foundation, pp.205-231, 1987
46. 朝鮮通信使との医事問答
『東北大学日本文化研究所研究報告』第24集, 27-69頁, 1988年3月
47. 蘭学と西洋科学—訳語による専門用語の形成
伊東俊太郎ほか編, 『日本科学史の射程』(『講座科学史』第4巻), 培風館, 121-141頁, 1989年1月
48. 『暦象新書』の研究(1)
『東北大学日本文化研究所研究報告』第25集, 107-152頁, 1989年3月
49. Anatomy in Rangaku
Journal of the Japan-Netherlands Institute, vol.1, pp.21-38, 1989
50. 蘭学と蘭学者
源了圓編, 『江戸後期の比較文化研究』, ぺりかん社, 295-327頁, 1990年1月

51. 『暦象新書』の研究(2)
『東北大学日本文化研究所研究報告』第26集, 143-176頁, 1990年3月
52. ファン・ミュッセンブルックのニュートニアニズム
『自立する科学史学』, 北樹社, 80-96頁, 1990年4月
53. ハイステル外科書の翻訳
洋学史研究会編, 『大槻玄沢の研究』, 思文閣出版, 45-95頁, 1991年2月
54. 蘭学と伝統科学
片野達郎編, 『正統と異端』, 角川書店, 447-461頁, 1991年3月
55. 蘭学と実学
源了圓・末中哲夫共編, 『日中実学史研究』, 思文閣出版, 93-110頁, 1991年4月
56. 日本の科学の道程
『国際交流』第56号, 30-35頁, 1991年7月
57. The Encounter of the *Ch'i* World View with Western Physical Sciences
Journal of the Japan-Netherlands Institute, vol.3, pp.113-124, 1991
58. 江戸時代における西洋学問分類の認識
『東北大学日本文化研究所研究報告』第28集, 51-75頁, 1992年3月
59. 明治の須弥山説論争
『東洋文化』第75号, 79-102頁, 1995年2月
60. “Traditional” vs “Modern” in the Japanese Context
C. Jami et al. eds., *East Asian Science: Traditional and Beyond*, Kansai University Press, pp.119-139, 1995
61. 西川如見—グローバルな視点をもった元禄の知識人
『国際交流』第71号, 50-52頁, 1996年4月 (のち石井米雄編『アジアのアイデンティティ』, 山川出版社, 83-90頁, 2000年4月所収)
62. 『解体新書』から『西洋事情』へ
『国際交流』第73号, 34-40頁, 1996年10月 (のち芳賀徹編『翻訳と日本文化』, 山川出版社, 50-66頁, 2000年4月所収)
63. 日本曆法的淵源与演進
李廷挙・吉田忠共編, 『中日文化交流史大系8・科技卷』第2章, 浙江人民出版社, 45-62頁, 1996年12月 (李廷挙訳)
64. 曆学, 蘭学と近代科学
吉田忠・李廷挙共編, 『科学技術』(日中文化交流史叢書8), 大修館書店, 2-24, 228-251頁, 1998年3月

65. Educational systems for the training of scientists and engineers in Meiji Japan
F. Guenergun and S. Kuriyama eds., *The Introduction of Modern Science and Technology to Turkey and Japan*, International Research Center for Japanese Studies, Kyoto, pp.97–117, 1998.3
66. The works of Johann Adam Schall von Bell in Tokugawa Japan
R. Malek ed., *Western Learning and Christianity in China, The contribution and impact of Johann Adam Schall von Bell, S.J. (1592–1666)* vol.2 (Sankt Augustin/Netteal: *Monumenta Serica* monograph series 35), pp. 1119–1130, 1998
67. “Dutch Studies” and Natural Sciences
L. Blusse et al. eds., *Bridging the Divide, 400years, The Netherlands–Japan* Leiden: Hotei Publishing, pp.91–101, 2000
68. 自然科学
Lブリュッセイほか編, 『日蘭交流400年の歴史と展望』, 日蘭学会, 119–134頁, 2000年4月
69. もう一つのハイステルの書
吉田忠・深瀬泰旦編, 『東と西の医療文化』, 思文閣出版, 161–173頁, 2001年5月
70. A Japanese Reaction to Aristotelian Cosmology
L. Saraiva ed., *History of Mathematical Sciences; Portugal and East Asia II* Lisboa: EMA–UL, pp.153–164, 2001.12
71. La science newtonienne selon Shizuki Tadao (1760–1806)
F. Giraud et al. eds., *Repenser l'ordre, repenser l'héritage: Passage intellectuel du Japon*, Paris: Droz, pp.379–409, 2002 (Annick Horiuchi 訳)
72. 天文学関係蘭文断簡について (上)
『鳴滝紀要』12号, 長崎シーボルト記念館, 1–15頁, 2002年3月
73. 中国経由の西洋知識
別冊『環』5号 (ヨーロッパとは何か), 藤原書店, 230–236頁, 2002年12月
74. 図示された太陽中心説
『洋学』10, 洋学史学会, 133–153頁, 2003年3月
75. 天文学関係蘭文断簡について (下)
『鳴滝紀要』13号, 長崎シーボルト記念館, 13–22頁, 2003年3月

Ⅲ. 口頭発表

Ⅲ-1: 国際学会・講演など (*招待)

1. 西洋地動說的授受—近代日本科学的一个側面—
西安：師範大学，1979年9月
2. Anatomy in Rangaku: Revisited
Workshop on the History of Netherlands–Japan Relations, The Ailion Foundation & The Japan–Netherlands Institute, Tokyo, 1985.11.25–29*
3. 日本におけるシーボルトの自然科学研究
国際シンポジウム「Ph. Fr. フォン・シーボルトと日本の近代化」, 法政大学, 1986年10月18日*
4. Kaempfer's Studies on Japanese Medicine
Symposium for the commemoration of the 300 years anniversary of Kaempfer's arrival in Japan, 東京：ドイツ日本文化研究所, 1990.12.8*
5. 科学文献の翻訳
国際高等研究所シンポジウム「誤訳と創造性」, 京都, 1991年3月*
6. The encounter of the ch'i world view with Western physical sciences
Conference on the transfer of science and technology between Europe and Asia since Vasco Da Gama, Leiden University, 1991.6*
7. 東西思想の比較をめぐって
1991年9月, (G.E.R. ロイド博士を囲むコロキウム「東西の合理的思想方法について」, 仙台市博物館, 1991年9月13日*
8. Japanese encounter with Western sciences
IIAS Symposium on "Translatability of Culture", International Institute for Advanced Studies, Kyoto International Conference Hall, 1991.9.9–11*
9. 医療技術の歴史的寄与
第四回日韓科学史セミナー, 京都, 同志社大学・京都産業大学, 1991.10.10–12
10. Scientific Aspects of the Japan–Netherlands Relationship
Symposium on the Future of the Japan–Netherlands Cultural Exchange, The Netherlands Association for Japanese Studies, Leiden University, 1991.12*
11. The Works of Adam Schall von Bell in Tokugawa Japan
International Symposium on the occasion of the 400th anniversary of the birth of Adam Schall von Bell, China Zentrum, St. Augustin, Germany, 1992.5*

12. 洋学における西洋科学の受容
1993年度日韓・韓日文化交流基金合同学術会議「18・19世紀における欧米科学技術の導入―日韓の比較」, 東京, 1993年7月*
13. Traditional vs Modern…a Japanese Context
Symposium on Modernization, The 7th International Conference on the History of Asian Science, 京阪奈プラザ, 1993. 8 *
14. Rangaku seen as flow of knowledge
The second symposium on the historical relations between the Netherlands and Japan, Leiden University, 1993.9
15. 知識の流れとして見た蘭学
東方学会・第39回国際東方学者会議セミナー「洋学史の現段階」, 教育会館, 東京, 1994年5月
16. 形而上と形而下
国際高等研究所ワークショップ「非ヨーロッパ世界における自然科学受容の文化的背景」, 国際高等研究所, 1995年11月24-26日*
17. Physical vs. Metaphysical…Justifying the reception of Western Science and Technology in Tokugawa Japan
東京大学-CNRS (フランス) 共催シンポジウム: Colloque, Traditions et Modernités, 東京大学, 1996. 4. 4-6 *
18. 朝鮮通信使との医事問答
第5回日韓科学史セミナー, Seoul 大學, 1996年9月1-3日
19. Educational Institutions for Training Scientists and Engineers in Early Meiji Japan
国際日本文化研究センター・トルコ・イスラーム歴史・芸術・文化センター (Research Center for Islamic History, Art and Culture) 共催: The Introduction of Modern Science and Technology to Turkey and Japan, イスタンブール・同研究所, 1996. 10. 7-12*
20. Von Siebold's role in introducing Western sciences into Tokugawa Japan
International Federation for Medical and Biological Engineering, "The Mission of Hippocrates in Japan" (The commemoration of the bicentennial of the birth of Philipp Franz von Siebold, University of Amsterdam, 1996.10.28*
21. 18世紀末日本におけるニュートン粒子論の受容 (18世紀末日本対牛頓粒子論的受容)
中国科学院自然科学史研究所講演会, 北京・同研究所, 1997年3月21日

22. A Historical Background of the Development of Science and Technology in Meiji Japan
Symposium for the commemoration of the 40th anniversary of the Siberian Branch of the Russian Academy of Science, Novosibirsk, Russia, 1997.9.23
 23. The importation of Dutch books into bakumatsu Japan
Old Relationship/New Sources, contemporary methodologies and shifting perceptions in 400 years of Dutch–Japanese interaction, Netherlands State Institute for War Documentation, Amsterdam, 1998.3.23–25*
 24. The Formation of Scientific Terms in 19th Century Japan
Colloquium: Comparative Studies on Modernization in Egypt, China and Japan, CNRS, Paris, 1998.3*
 25. Training Scientists and Engineers in Early Meiji Japan
パリ第七大学, 1998. 3
 26. Dutch studies and natural sciences
Workshop on the memorial volume for 400 Years Japanese–Dutch Relations, Netherlands Institute for Advanced Studies, Wassenaar, 1998.5.7–9*
 27. A Japanese reaction to Aristotelian cosmology
Second conference on the History of Mathematical Sciences: Portugal and the East, University of Macau, 1998.10.10–12*
 28. The star map of Shiba Kokan
日蘭修交400周年記念・日蘭交流史研究ワークショップ, 国際日本文化研究センター, 京都, 1999年11月
 29. Sea drifter's rediscovery of Japan
NIAS conference, Netherlands Institute for Advanced Studies, Wassenaar, 2000.5*
- Ⅲ－2：国内学会発表・講演など
1. 大槻玄沢と蘭学の世界
第24回北日本公共図書館長会議・記念講演, 北日本図書館連盟ほか, 仙台, 1989年10月3日
 2. 種痘の文化史
東北大学日本文化研究施設公開講演会, 仙台市博物館, 1989年11月16日
 3. 科学の専門分野の成立と専門職業化
第6回日本助産学会学術集会・シンポジウム「学問の成り立ちから学ぶ」, 東京, 1992年3月

4. オランダにおけるラヴォアジエ化学の受容
化学史学会・春の学校, 1994年3月
6. 伊予の蘭学と仙台の蘭学
愛媛県歴史文化博物館・開館記念シンポジウム, 愛媛県・卯の町, 1995年2月
7. 学問史としての洋学
洋学史学会シンポジウム, 順天堂大学, 1995年5月
8. 仙台の蘭学と大槻玄沢
日本薬学会・サンド講演会, 仙台, 1995年11月
9. 歴史の中の科学技術
財団法人青葉工学振興会創立十週年記念講演, 仙台, 1995年11月
10. 大学附置研究所小史
東北大学金属材料研究所研友会記念講演, 仙台, 1996年11月
11. 中天游の蘭学
大阪大学・適塾記念会, 中天游顕彰記念講演会, 大阪, 1997年6月
12. もう一つのヘンリーの訳書
日本化学会化学史シンポジウム, 岩手大学人文社会学部, 1997年9月
13. 日蘭医学交流400年
Org32489 研究会特別講演, 日本オルガノン, 東京, 1998年1月
14. 江戸時代における仏教コスモロジーと地球・地動説との相剋
日本科学史学会東北支部例会百回記念講演会, 仙台, 1998年2月
15. 最上徳内とシーボルト
山形県生涯学習センター「山形学」地域連携講座・山形県立米沢女子短期大学市民講座, 村山市農村環境改善センター, 2000年11月
16. 蘭学と西洋科学の受容
津山洋学資料館特別講演, 津山(岡山県), 2001年1月
17. 胎内十月の図
シンポジウム「江戸時代のモノづくり～日本の科学技術の源流～」, 国立科学博物館, 東京, 2001年3月
18. ライデン大学医学部の学統
第102回日本医史学会総会・学術大会 会長講演, 仙台, 2001年9月
19. 図示された太陽中心説
洋学史学会大会・会長講演, 京都薬科大学, 2001年12月

20. Western Science in Rangaku
a special lecture, Japan-Netherlands Joint Symposium on Crystal Growth: Theory and In-Situ Measurements, JANE+-2002, Sendai, 2002.1
21. 好奇心と科学の間
特定研究「江戸時代のモノづくり」シンポジウム・基調講演, 金沢: 石川県教育会館, 2002年5月
22. 歴史における壬生の蘭学
展示「壬生藩鳥居家の学問」記念講演, 壬生町立歴史民俗資料館(栃木県), 2002年10月
23. 幕末における西洋砲術の導入
企画展「江戸の終焉—黒船・開国—」記念講演, 東北大学附属図書館, 2002年10月
24. 江戸時代における図示された太陽中心説
国際基督教大学キリスト教と文化研究所, 三鷹, 2003年2月
25. バトロネージの鳥瞰図～西洋と江戸の比較～
特別展「江戸大博覧会」記念シンポジウム「江戸のモノづくりと文化」—文化を支えたパトロンとサロン文化, 国立科学博物館, 東京, 2003年7月

IV. その他

IV-1: 翻訳・解説・校注・図録解説など

1. 志筑忠雄『求力法論』校注・補注
広瀬秀雄ほか編『洋学下』, (『日本思想大系』第65巻), 岩波書店, 9-52, 385-393頁, 1972年6月
2. 高野長英『遠西水質論』現代語訳・補注
佐藤昌介編, 『渡辺崋山・高野長英』(『日本の名著』第25巻), 中央公論社, 294-312, 499-510頁, 1972年11月
3. J. ニーダム『中国の科学と文明』第3巻(『思想下』)第14章(擬似科学と懐疑論)・18章(中国と西洋における人間の法と自然法則) 翻訳
思索社, 389-440, 571-642頁, 1975年7月
4. J. ニーダム『中国の科学と文明』第5巻(『天の科学』)第20章(天文学) a-f 翻訳
思索社, 2-100頁, 1976年7月
5. W. ギルバート『磁石論』解説及び注
三田博雄訳『ギルバート』(『科学の名著』第7巻), 朝日出版社, 5-87, 272-502頁, 1981年3月

6. 三浦梅園『贅語・造物余譚』解説・現代語訳
山田慶児編『三浦梅園』（『日本の名著』第20巻），中央公論社，364-642，
704-723頁，1982年8月
 7. アティンジャー「技術革新の医療へのインパクト」抄訳
『ライフサイエンス』13巻10号，72-77頁，1986年10月
 8. D. オースター『ネイチャーズ・エコノミー』第10・11章翻訳
思索社，237-270頁，1989年11月
 9. Rangaku—Die Hollaendischen Wissenschaft
D. Croissant & L. Ledderose (eds.), *Japan und Europa 1543-1929*, Berlin:
Argon, pp.94-106, 1993
 10. 好奇心
図録『からくり夢工房』，東海テレビ，152頁，1994年10月
 11. 蘭学史における伊予
企画展図録『伊予の蘭学—近代科学の夜明け』，愛媛県歴史文化博物館，
108-113頁，1997年5月
 12. 佐々木中沢『存真図版』，解説・復刻
第102回日本医史学会総会記念，同準備委員会，1-11頁（解説），2001年
9月
 13. 歴史における壬生の蘭学
企画展図録『壬生藩鳥居家の学問』，壬生町教育委員会，4-6頁，2002年
9月
 14. 天を測り地を量る—宇宙をとらえる—
特別展図録『江戸大博覧会—モノづくり日本—』，国立科学博物館・毎日
新聞社，75頁，2003年6月
- Ⅳ-2：短 文
1. 近代科学と東洋科学
『UP』28号，東京大学出版会，1-6頁，1975年2月
 2. 東北大学所蔵和算関係資料について
東北大学図書館報『木這子』Vol.3, No.4, 1979年
 3. パラダイム雑感
中山茂編『パラダイム再考』，ミネルヴァ書房，26-45頁，1984年10月
 4. 科学史と科学社会学のはざま—M. ポランニーにことよせて
『現代思想』14-3，168-175頁，1986年3月

5. 医療におけるテクノロジー・アセスメント—その意義と現状
『病院』47巻8号, 657-660頁, 1988年8月
6. 患者から見た医師
『精神神経学雑誌』91巻11号, 1989年
7. 東アジア科学技術史文献案内
『国際交流』56号, 79-81頁, 1991年7月
8. メタメディカ
『補綴臨床』24巻6号, 762-763頁, 1991年11月
9. 日本におけるシーボルトの科学研究
法政大学編『法政大学第11回国際シンポジウム・Ph. Fr. Von シーボルトと日本の近代化』, 思文閣出版, 133-146頁, 1992年3月
10. 日本の伝統と西洋科学との出会い
大橋良介編『文化の翻訳可能性』, 人文書院, 149-156頁, 1993年10月
11. 健康改善に対する医療技術の寄与の再評価
『病態生理』Vol.12, No.11, 889-890頁, 1993年11月
12. 高齢化社会と老人医療
『総合臨床』42巻7号, 2181-2182頁, 1993年7月
13. クーン, ニーダム
『現代思想 ビーブル101』, 新書館, 62-63, 100-101頁, 1994年10月
14. エネルギー概念の成立
講座「産業の発展とエネルギー」第一回, 『日本エネルギー学会誌』73巻11号, 1016-1021頁, 1994年11月
15. 東西思想の比較をめぐって (Some remarks on the comparison between Eastern and Western thought)
沼田裕之・川田殖編『東西比較は可能か—G.E.R. ロイドとの対話—』, ペディラヴィウム会, 69-80頁, 1994年12月
16. オランダ・ベルギー・科学・技術
栗原福也編『オランダ・ベルギー』(世界の歴史と文化), 新潮社, 261-276頁, 1995年6月
17. 蘭学事始, 物質と気, 病と気
『日本文化の形—外来文化の受け入れ方をめぐって—』, 東北地区大学放送公開講座テキスト, 東北大学教育学部附属大学教育開放センター, 97-129頁, 1997年9月

18. 和算コレクション (附属図書館蔵)
東北大学『広報』No.177, 2-4頁, 1997年9月
19. 大学史における実験と実験器具
『東北大学百年史編纂室ニュース』3号, 2-3頁, 1999年1月
20. ライデン大学医学部の学統
『日本医史学雑誌』47巻3号, 457-459頁, 2001年9月
21. 宋応星『天工開物』, 游藝『天経或問』, 志筑忠雄『曆象新書』
2003年3月, 岡本さえ編著, 『アジアの比較文化』(名著解題), 科学書院,
70-72, 157-159, 164-166頁, 2003年3月
22. 幕末における西洋砲術の導入
東北大学図書館報『木這子』vol.27, no.4, 11-17頁, 2003年3月

IV-3: 科学研究費報告書

1. 江戸後期における西洋科学の受容
源了圓代表『江戸後期の比較文化的研究』, 28-31頁, 1980年3月
2. 『天経或問』の受容
源了圓代表『江戸後期の比較文化論的研究』, 27-36頁, 1982年3月
3. 幕末明治初年和刻漢訳西洋科学書
矢部一郎代表『府藩県制時代の科学技術—江戸と明治のつながり』, 3-5頁, 1988年3月
4. イエズス会士の著訳書と墓碑, イエズス会士関係著訳書所在調査報告
吉田忠代表『イエズス会士関係著訳書の基礎的研究』, 1-6, 1-67頁,
1988年3月
5. 洋学者門人帳の分析
吉田忠代表『洋学者門人帳の分析とそのデータベース化』, 1-5頁,
1991年3月
6. 養生と長生
杉山晃一代表『老いの比較文化論的研究』, 9-19頁, 1993年3月
7. はじめに
吉田忠・安田二郎, 吉田忠代表『東アジアの伝統社会における指導者像の比較研究』, 1993年3月
8. はじめに
吉田忠代表『健康改善に対する医療技術の寄与の再評価』, 1-12頁,
1994年3月

9. 「自然」概念の変遷
石山洋代表『西欧科学技術導入期における外来学術用語の日本語化過程の総合的研究』, 45-48頁, 1994年3月
10. 三浦梅園の自然哲学
吉田忠代表『三浦梅園の自然哲学』, 全60頁, 1997年3月
11. 江戸後期から明治初年の須弥山説論争の研究
吉田忠代表『江戸後期から明治初年の須弥山説論争の研究』, 全53頁, 1999年3月
12. 江戸時代における天文暦算書及び物理学・化学書の出版
吉田忠代表『蘭学関係科学書の出版状況の研究』(中間報告), 全53頁, 2003年3月

